

平成20年度第1回 公立大学法人熊本県立大学教育研究会議 議事録

日時：平成20年5月26日(月)午後2時30分～午後4時10分

場所：熊本県立大学 大会議室

出席：学長 米澤 和彦
副学長 古賀 実
事務局長 富永 安昭
文学部長 三木 悦三
環境共生学部長 大和田 紘一
総合管理学部長 松岡 泰
学術情報センター長 山田 俊
文学研究科長 半藤 英明
委員 石井 博憲
委員 河原畑 廣
委員 坂本 元子

事務局：豊田事務局次長、井上学生サービス担当次長兼教務入試課長、馬場総務課長、稲葉企画調整室長、鉄戸学生支援課長、田中学術情報センター事務長、枝國地域連携センター事務長、上村主幹、林参事

会議に先立ち、豊田事務局次長から、「公立大学法人熊本県立大学定款」及び「公立大学法人熊本県立大学教育研究会議運営規程」に沿って、教育研究会議の位置づけ等について説明があった。

- 1 辞令交付
米澤学長から、石井博憲委員、河原畑廣委員、坂本元子委員に任命辞令を交付した。
- 2 開会（進行：豊田事務局次長）
- 3 学長挨拶
- 4 委員紹介
新任の石井博憲委員の挨拶の後、各委員から自己紹介があった。
- 5 議事（議長：米澤学長）
(1) 審議事項

平成21年度入学者選抜の実施方針について

事務局から、平成21年度入学者選抜の実施方針について、資料1に基づき、「入学者選抜の実施方針は、毎年5月の教育研究会議で審議いただき、6月に選抜に関する要項を発表することとしている。学部入試については、全体の入学定員の変更はないが、文学部英語英米文学科は、一般選抜前期、後期で5名定員を入れ替えた。また、文学部日本語日本文学科及び英語英米文学科の推薦入学について、1高校からの推薦数を1名から2名とした。選抜日程については、資料のとおりである。大学院入試については、文学研究科日本語日本文学専攻の博士前期課程に学術奨励賞受賞者特別選抜を設け、またアドミニストレーション研究科博士前期課程一般選抜の専門科目を2科目から1科目とするなどの変更を行う。」との説明があった。

続いて、事務局から、平成22年度一般選抜の実施教科・科目及び入試広報について、同資料に基づき、「平成22年度入学者選抜のうち、一般選抜における大学入試センター試験及び個別学力検査の実施教科・科目については、平成21年度から変更しない。入試広報については、今年度は、県外、特に九州内に対する入試広報を充実させることとし、大学広報を兼ねて宮崎、鹿児島で講演会事業を実施する。また、オープンキャンパスとサマーカレッジについては、同日の午前午後とし、7月21日及び7月27日の2回に分けて開催する。」との説明があった。

審議の結果、平成21年度入学者選抜の実施方針について、案のとおり議決した。

熊本県立大学客員教授の選考について

事務局から、熊本県立大学客員教授の選考について、資料2に基づき、「潮谷義子氏については、行政及び福祉分野で特筆すべき業績をあげられておられ、公立大学法人熊本県立大学客員教授規程に照らし、客員教授としての資格を十分備えている。経験を踏まえて講演いただくことで、学生の人材育成に資することとしたい。」との説明があった。

審議の結果、熊本県立大学客員教授の選考について、案のとおり議決した。

(2) 報告事項

もっこすプラン2008の策定、届出について

事務局から、もっこすプラン2008の策定、届出について、資料3に基づき、「資料のとおり、3月31日に平成20年度年度計画を熊本県知事に届け出た。」との報告があった。

「熊本県立大学における教育研究上の目的に関する規程」の制定について

事務局から、「熊本県立大学における教育研究上の目的に関する規程」の制定について、資料4に基づき、「3月10日及び21日に開催された当会議で語句の修正について、学長、副学長に一任していただいた分を微調整した。」との報告があった。

平成20年度一般選抜における追加合格者決定について

事務局から、平成20年度一般選抜における追加合格者決定について、資料5に基づき、「3月5日及び21日の当会議で審議いただいて、追加合格が必要な場合は、国公立大学間の取り決めルールに従い、追加合格の手続きを行った結果、定員を充足できることとなった。総合管理学部前期日程B方式の追加合格が多かった。」との報告があった。

非常勤講師の採用について

事務局から、非常勤講師の採用について、資料6に基づき、「前回当会議で未審議であった3科目3人、前回当会議後に発生した事情による4科目8人の非常勤講師を、4月10日付けで採用した。」との報告があった。

科学研究費補助金の応募・採択状況等について

事務局から、科学研究費補助金の応募・採択状況等について、資料7に基づき、「科学研究費補助金の応募に関しては、平成18年度から平成19年度にかけて大幅に増加したが、平成19年度から平成20年度にかけては伸びがなかった。なお、外部資金等の受入に関しては、件数、金額とも伸びてきている。」との報告があった。

平成20年度国公立大学を通じた大学教育改革の支援等プログラムへの取組状況について

古賀副学長から、平成20年度国公立大学を通じた大学教育改革の支援等プログラムへの取組状況について、資料8に基づき、「今までも申請してきたが、採択までには至っていない。今年度は、既に新たな社会的ニーズに対応した学生支援プログラムの申請を済ませており、現在資料のとおり各プログラムへの申請に向け取り組んでいる。」との報告があった。

平成20年度管理栄養士国家試験結果について

大和田環境共生学部長から、平成20年度管理栄養士国家試験結果について、資料9に基づき、「本学の平成20年度管理栄養士国家試験の新卒合格率は、78.9%と全国平均を下回り、残念な結果となった。管理栄養士になるべく入学してきた学生のモチベーションをいかに持続させるか検討していきたい。」との報告があった。

新入生、新2年生に対するアンケートの実施結果について

事務局から、新入生アンケートの実施結果について、資料10-1に基づき、「新入生アンケートは、昨年度から実施しているが、昨年度からの相違点としては、本学を調べる際に最も活用したものとして、オープンキャンパスの割合が上がった。見直しの成果が出たものと思われる。また、学部学科名から学問の内容をイメージできるかに関しては、学科制、コース制の導入の効果もあってかイメージできるとする回答が増加した。」との報告があった。

続いて、事務局から、新2年生アンケートの実施結果について、資料10-2に基づき、「入学後1年経ってみて、8割の学生は、大学生活に満足し、後輩等に本学への進学を進めたいとする調査結果が出た。アンケート結果を教育改革や大学の様々な施策の改善につなげていけたらと考えている。」との報告があった。

平成19年度卒業生数及び平成20年度在学学生数について

事務局から、平成19年度卒業生数及び平成20年度在学学生数について、資料11に基づき、「留年率の推移を一覧表にしたが、今年度は、7パーセントと昨年度と同じ低い数字となった。」との報告があった。

平成19年度（平成20年3月卒業者）就職状況について

事務局から、平成19年度（平成20年3月卒業者）就職状況について、資料12に基づき、「平成19年度の就職率は、前年度の89.0パーセントから2.5ポイント伸びて91.5パーセントとなった。」との報告があった。

4 閉会